

# 令和9年度事業・予算（案）について

## 検討案

大阪市教育振興基本計画

【安全・安心な教育の推進】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 【学びを支える教育環境の充実】

【予算要求についての考え方】

- ・大阪市教育振興基本計画に沿った形で予算要求を行う。
- ・区予算事業「校長経営戦略支援予算区担当教育次長執行枠」「区まちづくり推進費事業 こどもの貧困対策事業」については教育委員会予算・第3ブロック予算との重複は生じていない。
- ・区役所としては、学力向上・学校教育への支援を主眼に置いた予算要求を行う。

教育委員会の取り組み（抜粋）

- ・ いじめ・不登校・児童虐待等防止対策      ・ 学力向上支援チーム事業      ・ 校長経営戦略支援予算      ・ ブロック化学校支援事業

ブロック化学校支援事業（第3教育ブロック）

- A 基本配付
- B 探求・読解プロジェクト
- C 学び続ける教員の育成
- D 重点支援校（国・算・数学びサポーター）
- E 準重点支援校

浪速区の取り組み

＜校長経営戦略支援予算区担当教育次長執行枠＞

- ・ 浪速区中学生の学力向上支援事業（なにわ学び教室）
- ・ 浪速区小学生の学力向上支援事業（なにわ学び教室）
- ・ 浪速区教育活動支援事業

＜区まち予算（こどもの貧困対策予算）＞

- ・ 登校支援が必要な児童生徒への支援事業

# 区事業として必要な要件

---

## **条件 1** 事業効果が広く区域全体に波及することが見込まれること

- ・ 特定の学校にのみ効果があったり、実施の利益を供与されるものは不可

## **条件 2** 複数校が実施または連携して取り組み、その成果を共有できるもの

- ・ 同内容の取組を区内の2校以上が個別に実施、小小連携や小中連携の一環として一つの取り組みを複数校で実施、広く成果を共有できる取り組みなどが対象

## **条件 3** 事業目的が区のミッションに合致していること

- ・ 学力の向上、体力の向上、キャリア教育の推進など区が支援することに説明責任が果たせる合理性があること

## **条件 4** 事業の実施効果を明確に測定できること

- ・ 児童(生徒)アンケートの結果、〇〇〇と答える児童(生徒)の割合を令和8年度から〇ポイント増加させる など

# 令和 9 年度に向けた予算の考え方（案）

校長経営戦略支援予算区担当教育次長執行枠

| 事業名                                             | 令和 8 年度予算<br>単位：千円 |       |
|-------------------------------------------------|--------------------|-------|
|                                                 | 小学校対象              | 中学校対象 |
| ①浪速区中学生の学力向上支援事業<br>（なにわ学び教室）<br>【※大阪市塾代助成事業活用】 |                    | 1,580 |
| ②浪速区小学生の学力向上支援事業<br>（なにわ学び教室）<br>【※大阪市塾代助成事業活用】 | 161                |       |
| ③浪速区教育活動支援事業                                    | 2,647              | 920   |
| 計                                               | 5,308              |       |



| 事業名                                                | 令和 9 年度予算<br>単位：千円 |       | 考え方                       |
|----------------------------------------------------|--------------------|-------|---------------------------|
|                                                    | 小学校対象              | 中学校対象 |                           |
| ①②浪速区小・中学生の学力向上支援事業<br>（なにわ学び教室）<br>【※大阪市塾代助成事業活用】 | 161                | 1,580 | 【見直し】<br>小・中学生を1つの事業として実施 |
| ③浪速区教育活動支援事業                                       | 2,647              | 920   | 【現状維持】                    |
| 計                                                  | 5,308              |       |                           |

| 【重点予算】<br>子どもの貧困対策予算 | 事業名                 | 令和 8 年度予算<br>単位：千円 |
|----------------------|---------------------|--------------------|
|                      |                     | 小中学校対象             |
|                      | ④登校支援が必要な児童生徒への支援事業 | 8,880              |



| 事業名                 | 令和 9 年度予算<br>単位：千円 | 考え方    |
|---------------------|--------------------|--------|
|                     | 小中学校対象             |        |
| ④登校支援が必要な児童生徒への支援事業 | 8,880              | 【現状維持】 |

# ①浪速区中学生の学力向上支援事業（R8予算：1,580千円）

## 令和8年度の実施内容

### ○ 事業内容

民間事業者と委託契約を結び少人数制による個別指導を実施

### ○ 通常教室 （実施期間）

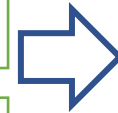
令和8年4月～翌3月  
無料体験教室：令和8年4月  
通常教室：5月～翌3月※  
（週2日・中学校等で実施）月額10,000円  
※大阪市習い事・塾代助成事業を利用すれば、参加費実質無料

### ○ 特別教室 （実施期間）

令和8年7月21日～8月10日のうち14日間  
（参加費無料）

### ○ 理解度テスト ※事業効果測定として

7月・11月・2月 計3回実施



## 令和9年度の方角性

### 見直し

小・中学生を1つの事業として実施  
※予算規模は令和8年度と同規模を予定

## 令和8年実施状況（令和8年5月末現在）

・通常教室については。各教室定員が20名程度。

|        | 中1  | 中2  | 中3  | 計   |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 難波中学校  | 5名  | 6名  | 5名  | 16名 |
| 木津中学校  | 6名  | 2名  | 5名  | 13名 |
| 日本橋中学校 | 2名  | 9名  | 6名  | 17名 |
| 合計     | 13名 | 17名 | 16名 | 46名 |

## ②浪速区小学生の学力向上支援事業（R8予算：161千円）

### 令和8年度の実施内容

- 事業内容 民間事業者と協定を締結し少人数制による個別指導を実施。
- 対象者 浪速区の大阪市立小学校に在籍する学校5年生及び6年生
- 実施期間 令和8年5月～令和9年3月
- 実施場所
  - ・ 栄小学校・難波元町小学校・大国小学校
  - ・ 敷津小学校・浪速小学校
  - ・ 大阪祭典なにわ区民ホール（浪速区民センター）
  - ・ オンライン
- 参加者負担 月額10,000円  
※大阪市習い事・塾代助成事業を利用すれば、参加費実質無料



### 令和9年度の方角性

#### 見直し

小・中学生を1つの事業として実施  
※予算規模は令和8年度と同規模を予定

### 令和8年実施状況（令和8年5月末現在）

- ・ 通常教室については、各教室定員が20名程度。
- ・ 各教室参加者数
  - 栄小学校：1名    難波元町小学校：0名    大国小学校：1名
  - 敷津小学校：1名    浪速小学校：3名
  - 大阪祭典なにわ区民ホール（浪速区民センター）：3名
  - オンライン0名

### ③浪速区教育活動支援事業（R8予算：3,567千円）

#### 令和8年度の実施内容

##### ○ 事業内容

- ①～③の事業を選択し実施する。
- ①日本語の指導が必要な児童生徒への支援
- ②漢字能力検定支援
- ③教育環境の向上支援（教材等の購入）

##### ○ 支援上限額

令和7年5月1日現在の学級数に応じて按分



#### 令和9年度の方針

**現状維持**

**令和8年5月1日現在の学級数に応じて按分**

#### 令和8年実施状況（令和8年6月末現在）

- ①サポーター登録者数 … 34名  
配置校数（活動サポーター数）…小学校 6校（6名）、中学校 3校（3名）
- ②漢字能力検定受検支援 小学校5校において実施予定
- ③教材等の購入 小学校3校、中学校1校の希望物品を購入予定

## ④登校支援が必要な児童生徒への支援事業 (R8 予算：8,880千円)

### 令和8年度の実施内容

#### ○ 事業内容

区内小中学校に登校支援サポーター（有償ボランティア）を配置し、次の支援を行う。

- ①児童生徒の自宅へ訪問し登校を促す支援
- ②教室とは別の場所で学習の見守り等を行う別室登校支援
- ③その他、学校の状況に応じて必要な支援



### 令和9年度の方角性

**現状維持**

### 令和8年実施状況（令和8年6月末現在）

- ・登校支援サポーター登録者数 … 22名
- 配置校数（活動サポーター数（延べ人数）） … 小学校 5校（9名）、中学校 2校（6名）